Resume (Analog and Mixed-mode Circuits)

２００９年３月２４日

西田　芳雄

３月２３日（月）に貴校（豊橋科学技術大学）に於いて、GＣＥＯ講演を行いましたので、以下に報告します。講演前半では、博士課程での勉強の意義や博士課程の必要性などに焦点をあて、参加学生の意見も交えながら話を進めました。ある修士学生からの意見として「博士号は足裏の米粒では」という俗に日本での“古い”認識がまだあることを聞き、今は特に先端技術の分野ではむしろ必要不可欠であるということを伝えました。また、数人の教員からは私のアメリカ留学での資金源等の質問を受け、むこう（アメリカ）ではＲＡやＴＡなどが充実しており、日本での学生への資金的サポートが充実しているのであれば学生の博士号へのチャンスが広がることを強調しました。この前半のテーマに対して私自身の私観でありますが、このＣＥＯ講演を通して、貴校のように非常に優れた教育プログラムや環境において、今後より多くの学生の方々が最高学位取得へのモチベーションが高まることを期待いたします。

後半は近年のアナログ/ディジタル混載回路の高性能化の技術について紹介しました。特にデルタ/シグマ変調方式とバックグランド補正方式等に重点をおきました。最新の開発事例等をも用いて、技術的な質疑応答を行いました。これを機に、学生の方々が集積回路技術への興味が高まり、向学心を高めていくことをも期待しています。

最後でありますが、今回の本講演の機会を与えていただくとともに多くのご協力を頂きました、貴校の先生方に感謝いたします。